

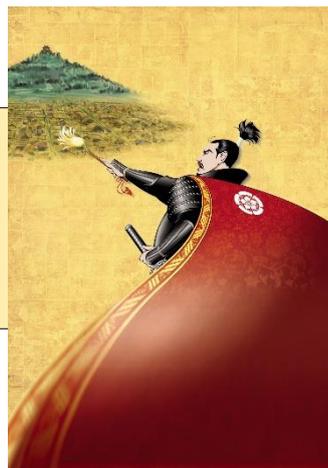


信長が築いた石の城が現代に **よみがえる！？**

小牧市企業版ふるさと納税

「近世城郭のルーツ」小牧山城

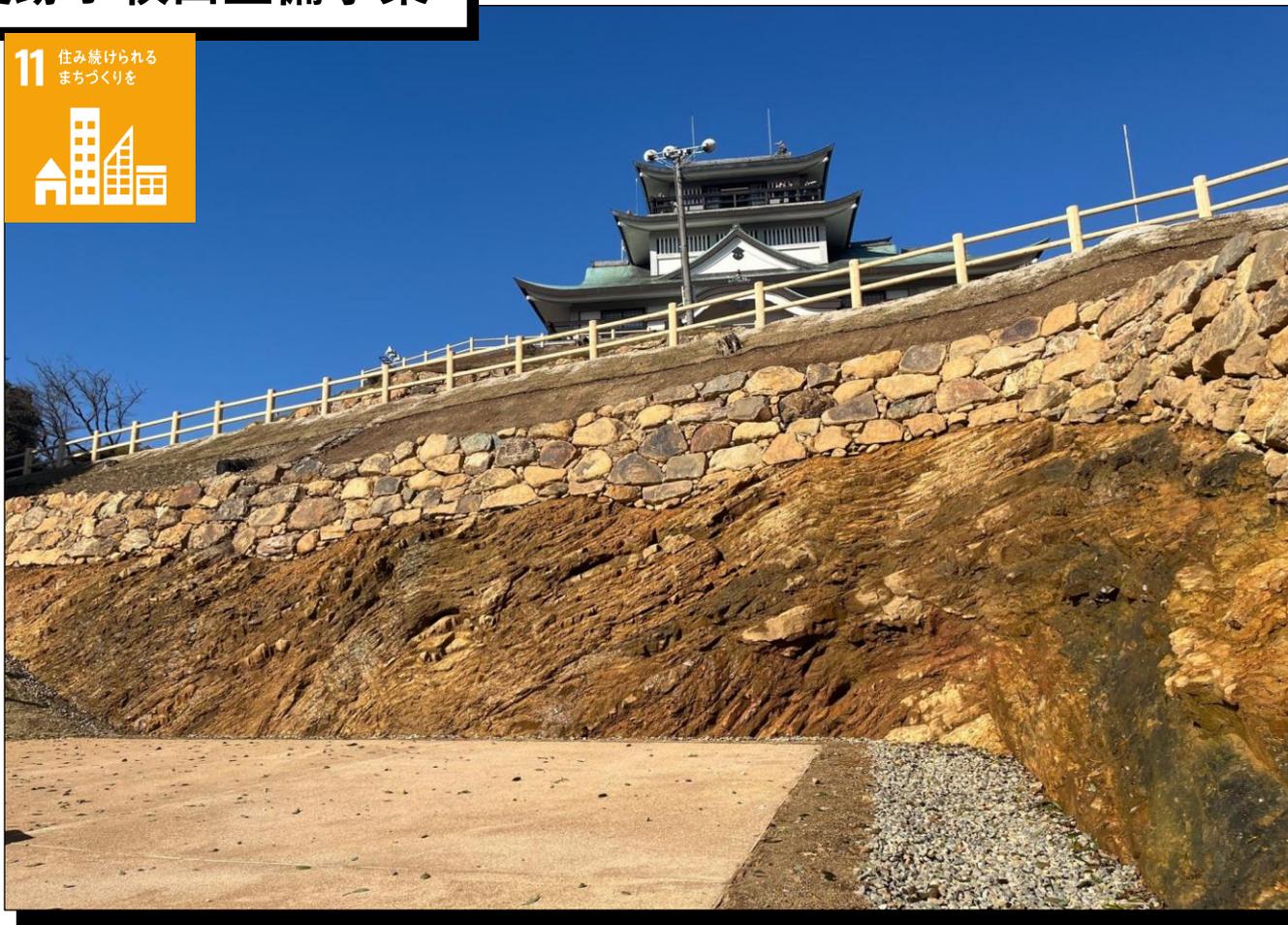
小牧市のシンボル「小牧山」は、戦国時代の三武将、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康が関わる、全国でも稀有な場所です。歴史的には、秀吉と家康が直接対決した「小牧・長久手の合戦」の舞台として有名ですが、実は信長が当時の最先端の技術を用いて築いたお城であることが、発掘調査によって明らかとなっています。このような「小牧山城」の歴史的価値や魅力をもっと伝えられるよう、小牧市では、令和3年度から令和7年度まで5年をかけて、信長が小牧山の山頂を取り巻くように築いた2～3段の石垣などの復元整備事業を進めています。



◎イチオシ事業です！

史跡小牧山整備事業

11 住み続けられるまちづくりを



寄附金の使いみち

ご寄附いただいた企業様へのご案内

- ◇ 皆さまからいただいた寄附金は山頂部の石垣
- ◇ 復元整備などの史跡小牧山主郭地区整備事業
- ◇ に活用します。

- ◇ 10万円以上のご寄附
市公式サイト・SNSでご紹介
- ◇ (コーポレートサイトの他、サービスサイトを運営しているようであればそちらの掲載も可能！)
- ◇ 200万円以上のご寄附
市長による感謝状贈呈式の開催
- ◇ R7.12月末までは**100万円以上**の寄附で小牧山山頂にある小牧山歴史館内に**銘板**を末永く設置いたします。

令和7年度整備予定エリア



整備完了後イメージ図

企業名が入った銘板を歴史館内に設置します！

4cm

16cm

織田 信長